

備前市事務事業評価表

事務事業名	公園管理事業（日生）		コード	担当課	日生総合支所 建設課
			01-01-07-04	担当者	井上 哲夫
				電話	72-1259
総合計画 事業（政策）体系	大項目	安全で快適に暮らせるまちづくり			
	中項目	生活しやすいまちづくり			
	小項目	公園緑地			
	施策	公園施設の利用促進と充実			

事業について	
目的	浜山運動公園は、長年市民が親しんできた憩いの場であり、継続的に巡視管理を行うことで、わんぱく広場等における施設の破損・不具合等を早期発見し迅速に処理することにより市民生活の日常的な安全を確保する。
対象（誰のために）	運動公園利用者
内容	遊具等の巡視点検・植物管理（清掃・除草・かん水）

事業の結果	17年度		
実施項目	回数など	回数など	回数など
運動公園施設修繕件数	5 件		
運動公園清掃回数	160 人日数		

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源		
	直接事業費	66,464	国庫補助金等		直接事業費		国庫補助金等		
	人件費	5,360	受益者負担		人件費		受益者負担		
	市債		市債		市債		市債		
合計	71,824	一般財源等	71,824	合計	0	一般財源等	0	合計	0
必要人員	0.60		人		人		人		
結果指標①	結果指標名	運動公園施設修繕件数							
	結果指標量	5							
	単位	件							
	対前年比	—							
結果指標②	結果指標名	運動公園清掃延べ人日数							
	結果指標量	160							
	単位	人日							
	対前年比	—							
事業費	6,660,000		円		円		円		
単位当たりコスト②	41,000		円		円		円		

事業の成果			
成果指標名	要望事項に対する修繕対応率	式又は説明	$\frac{\text{修繕対応件数}}{\text{適正要望件数}} \times 100$ 緊急性や優先順位の高い要望に対して適性に対応していく。
成果指標量	17年度		
対前年比	100%		0.00%
到達目標値	100%	到達目標年度	毎年

事務事業の評価		(平成17年度事業)	
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である 関係法令等： 備前市都市公園条例	課題認識 職員が巡視点検を行っているが、遊具も多様化しており、危険度の判断基準が難しい事もあるので年に一回は、専門業者に委託する必要がある。
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input checked="" type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
効率性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である	近年家庭内のゴミなどが持ち込まれ処理作業に係る人件費が増大傾向にあったが、ゴミ箱を撤去することにより清掃作業に係る人件費の削減につながった。次年度より指定管理者制度を導入しコストの削減を目指す。グラウンドゴルフ場の使用料が他の施設と比べ著しく安く採算が合わないことから委託料の算定をする際にネックとなる為、利用料金の見直しを検討したい。
	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input checked="" type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	
	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	
有効性の評価	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input checked="" type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	目的達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している 成果向上の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある 市民参画度 <input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている
	目的達成度		
	成果向上の可能性		

総合評価	コ 利用者の安全性確保を最優先課題とし、遊具の点検を定期的に行いたい。また、指定管理者制度を導入しコストの削減を図りたいが、グラウンドゴルフ場使用料が他の施設に比べ安く採算が合わない事から、委託料の削減を図りにくいので利用料金の見直しを検討したい。	評価区分 <A~E> C
------	--	------------------------

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合		
翌年度結果指標量①	運動公園施設修繕件数	結果指標量②	運動公園清掃延べ人日数
目標値	成果指標量	要望事項に対する修繕対応率	

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
有効性	毎月公園の遊具点検日を設け事故を未然に防ぐ。	次年度	利用者からの苦情を少なくできる。
効率性	グラウンドゴルフ場使用料金の見直し	次年度	指定管理委託料の削減

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。